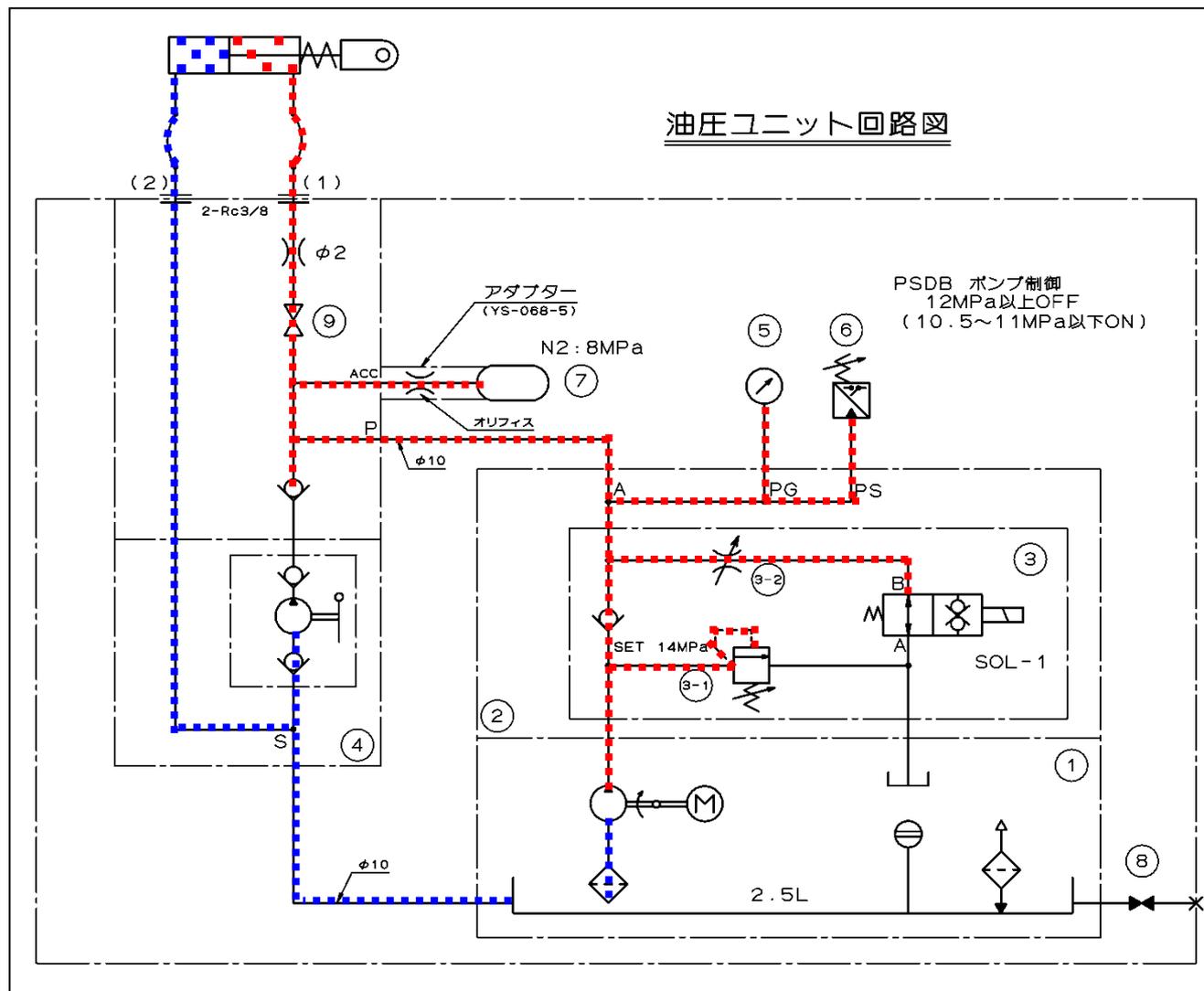
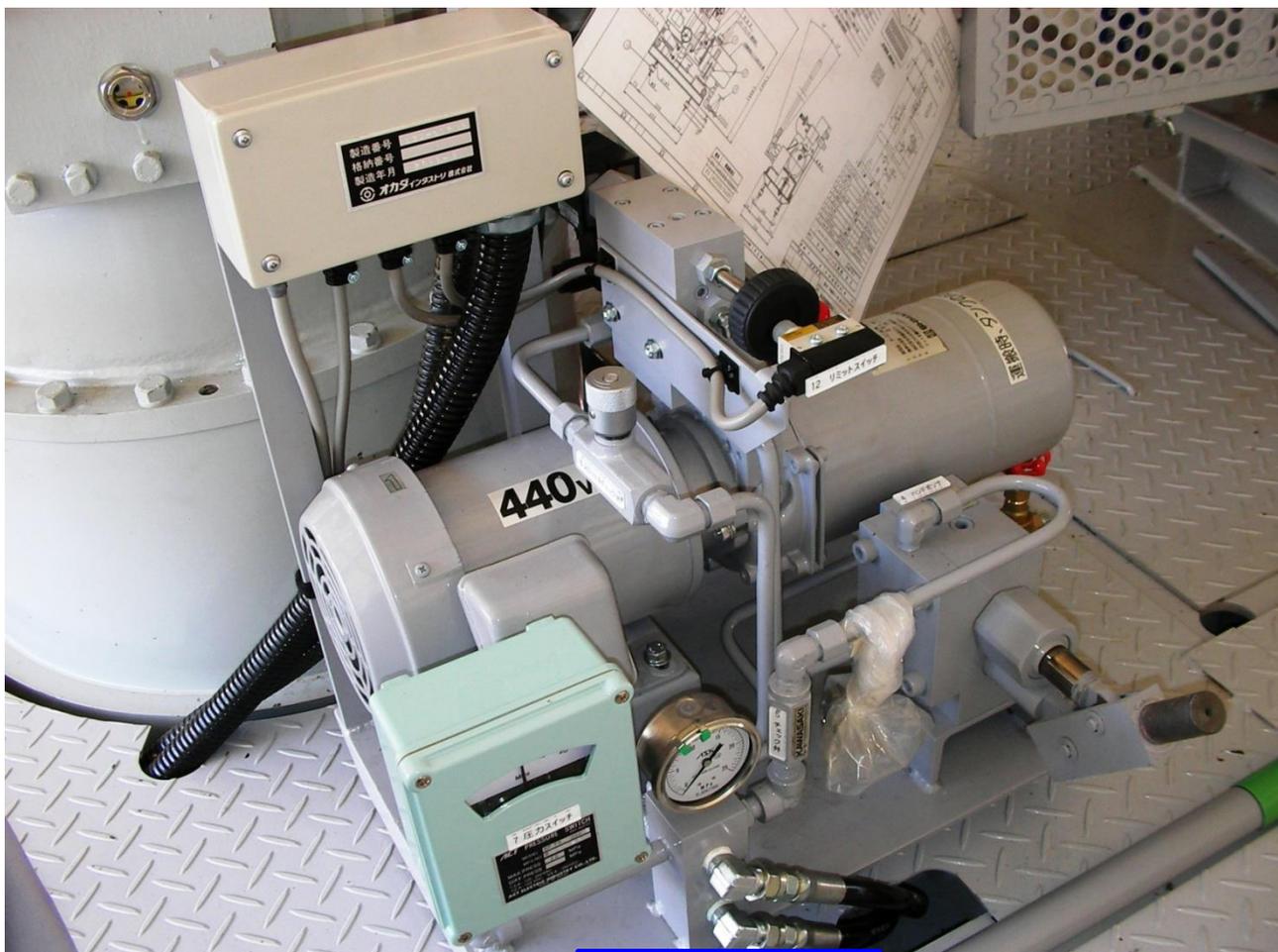


(2) 油圧回路図 制動装置油圧ユニット 回路図

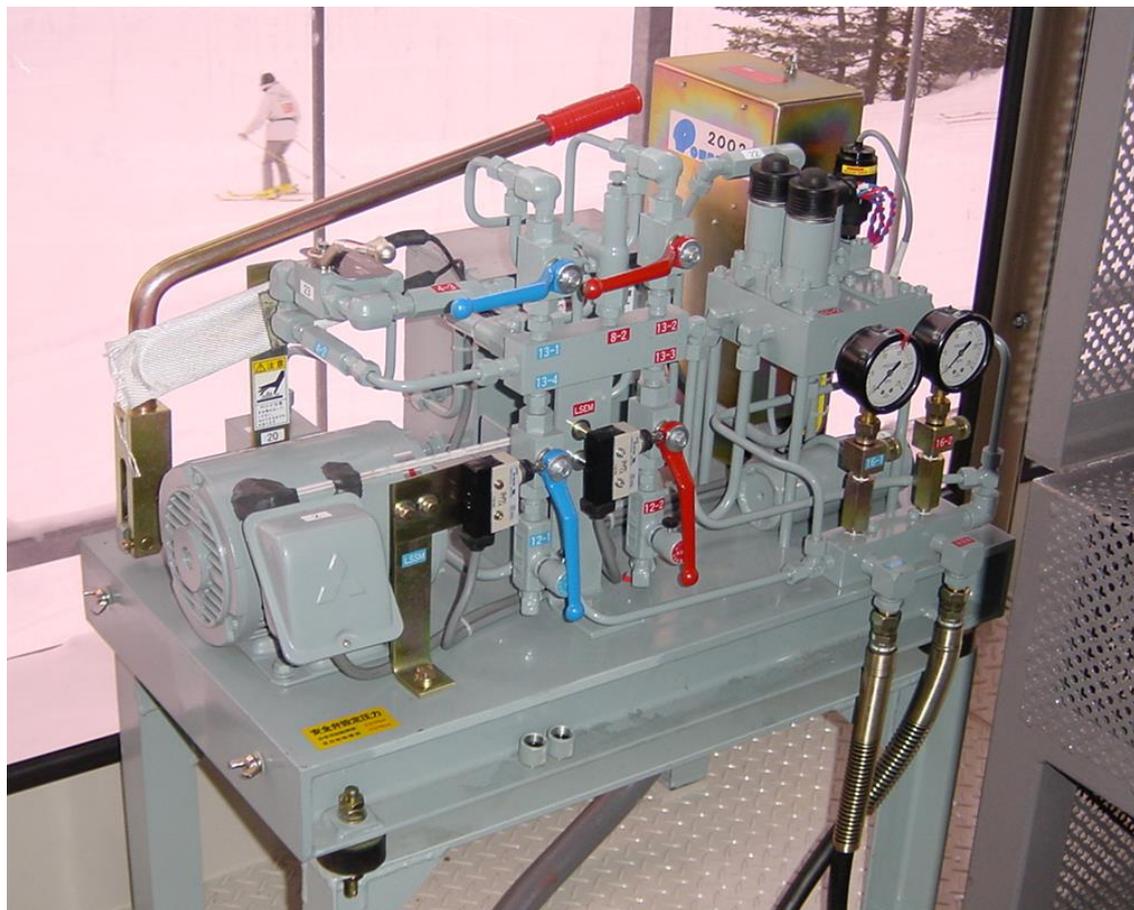


(2) 油圧回路図 制動装置油圧ユニット



取付例

(2) 油圧回路図 制動装置油圧ユニット

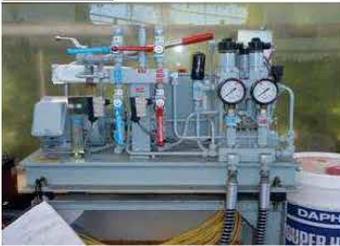


取付例

油圧装置 検査項目

検査項目	㊦ 作用の良否（目視）
検査内容	必要に応じて圧力を測定し、正常に作用しているかを調べる。
ポイント	圧力の異常を圧力計の指針等で確認する。

油圧ユニット



◆ 事象（どんな状況）
油圧が所定の圧力にまで上がらない。



◆ 原因（どうして起きたか）
電磁弁が正常に切り替わらず、油が一部逃げていた。



◆ そのままにしておくと
ブレーキを開放することができず、運転再開ができなくなる。



◆ 対策（どうすればいい）
定期的なオーバーホール、修理を行う。

検査項目	㊧ 作動油の汚損、変質の有無、油量の良否（目視、触覚）
検査内容	汚損や変質はないか、油量は適正かを調べる。
ポイント	オイルゲージにより色の変化を確認し、必要に応じて交換する。

油圧ユニットの作動油タンクと作動油



◆ 事象（どんな状況）
作動油の油量が減っていた。



◆ 原因（どうして起きたか）
配管部分に油漏れが発生していた。



◆ そのままにしておくと
タンクでエアを吸い込み、キャビテーションを起こしてポンプが破損する。



◆ 対策（どうすればいい）
油漏れの箇所を修理し、油量を適量に戻す。

故障・不具合事例と対策：油圧ユニット

【現象】始業点検のためリフトを運転しようとしたが、非常制動機が開放しない。

【原因】制動機油圧ユニット内の電磁弁不良による。
(ゴミ、電磁コイル不良などが原因)

【対策】電磁弁を予備品と交換して復旧した。
経年使用による老朽化が懸念されたため、オフシーズンにユニットのオーバーホールを実施。

1つの部品が不良になるときは、他の部品も劣化している可能性が高い。現状復帰したから、良しとするか、オーバーホールして懸念を払拭するか**の判断こそ、安全統括管理者・技術管理者の責務。**